

## 2020 年度第 3 回日本地球化学会理事会

日時：2021 年 2 月 1 日（月）16:00-19:00

### ZOOM 開催

出席者：鍵 裕之，益田 晴恵，南 雅代，小畑 元，奈良岡 浩，浅原 良浩，服部 祥平，太田 充恒，川口 慎介，横山 哲也，寺田 健太郎，角野 浩史，高野 淑識，日高 洋，藪田 ひかる，原田 尚美，板井 啓明，大野 剛，福士 圭介，鈴木 勝彦，角皆 潤，張 勁，飯塚 毅，山本 鋼志（監事），蒲生 俊敬（監事）折橋裕二（オブザーバー・年会幹事）

### 審議事項

#### 1. 2021 年度年会について

2021 年度弘前年会について，次の事項が承認された。

- ・年会までのスケジュールとして 5 月ウェブ公開，7 月講演申し込み，8 月下旬資料収集，9 月上旬資料公開，9 月 8-10 日を年会期間，9 月下旬に資料公開終了とすること
- ・総会はオンラインで開催すること
- ・受賞講演はオンラインで開催すること
- ・学会基盤セッションは 2020 年大会と同じであること
- ・2020 年大会のサイトを次年度も活用すること（予算 703,000 円が必要）

また，開催方法を現地開催，オンライン開催，もしくは二つを組み合わせたハイブリッド開催のどれにすべきかについて議論がなされた。理事会では，現地対面開催の可能性を探り，難しいようであればオンライン開催にするという方向で，3 月末までに決断することとなった。

#### 2. 理事・会長・副会長選挙の実施方法について

理事，会長，副会長，監事選挙をウェブで実施し，下記のスケジュールで実施することが承認された。また，板井理事と福士理事が選挙管理委員を務めることが承認された。

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 2 月中旬 | 学会内に今回も電子投票でおこなうことを周知 |
| 4 月中旬 | 選挙公示，立候補・推薦受付開始       |
| 5 月中旬 | 立候補・推薦受付締切            |
| 5 月下旬 | 投票期間開始                |
| 6 月下旬 | 投票締切，開票               |
| 6 月末  | 理事会に報告                |

#### 3. 国際文献社との契約更新について

国際文献社と 2021 年度についても契約を更新することが承認された。契約更新にあたっては，4 月に契約書を数名の幹事（総務，庶務，）でチェックし，国際文献社と契約内容を確認する場を設けることとした。

#### 4. Goldschmidt2021 協賛金について

Goldschmidt 2021 に Principal co-sponsor として 30 万円の協賛金を支払うことが承認された。2013 年～2020 年は 50 万円の協賛金を支払っていたが、それ以前は 30 万円であった。50 万円に上げたのは、2016 年の横浜大会までに余剰の国際会議基金を使い切るためだった。今年はハイブリッド開催であり、現地に行く参加者の人数が少ないことが見込まれることから、再度 30 万円に引き下げることとした。

#### 5. 山田科学振興財団研究助成への推薦について

山田科学振興財団研究助成を応募したところ (1/29 締め切り)、1 件の応募があった。

学会として、この申請を推薦することが承認された。

#### 6. Geochemical Journal の出版社について

Geochemical Journal の出版社を、現在の Terrapub の他に、Taylor & Francis, Wiley, Springer などの海外出版社、もしくは中西印刷などの国内出版社への変更も含めて検討中であることが報告された。さらに Taylor & Francis 及び中西印刷に変更した場合の収入支出の予測について説明がなされた。その上で、

- ・冊子体を廃止すること。
- ・完全オープンアクセスにすること (Taylor & Francis と契約する上では必須)。

が承認された。また、今後数年間については、学会員に学会から論文出版費用を補助する予定であることが紹介された。出版社については、GJ ワーキンググループで引き続き議論を継続していくこととなった。

#### 7. 鳥居・井上基金選考委員長の選出について

川口委員を次期委員長に任命することが承認された。

### 報告事項

#### 8. 2020 年度年会開催報告

南 LOC 委員長から、2020 年度のオンライン年会の、後援企業、開催セッション、共催学会、発表件数、支出・収入、年会アンケート結果などが資料に沿って報告された。

#### 9. 会計幹事

国際文献社から持続化給付金への申請要件を満たしている旨の連絡があったが、理事会でメール議論した結果、応募しなかった旨の説明があった。また、

- ・国際文献社では会計関係の電子化、押印省略が進められていること

- ・会員の会費支払いで口座振替を推奨すること
- ・今年度も寄付金を募ったところ、177,000 円の寄付がこれまでにあったこと
- ・学会の財政状況

について報告がなされた。

#### 10. 国際幹事

Goldschmidt2026 の日本開催の可能性について、11 月の夜間集会での意見・論点や、その後、に国際幹事に寄せられた情報・意見が紹介された。今後も審議を継続していくこととなった。

#### 11. 企画幹事

2020 年度年会・ショートコース開催の報告が資料に沿って報告された。

#### 12. 会員幹事

会員数の推移について報告がなされた。学会費滞納退会の可能性がある会員に積極的に声をかけていくよう、呼びかけがあった。

#### 13. 和文誌地球化学

編集会議の実施報告、学会賞の受賞論文を地球化学と GJ どちらでも選べるようにすることが報告された。

#### 14. 広報幹事

メーリングリストへの通知、ウェブサイトの更新状況、ニュースの発行状況が報告された。また、講師派遣については、リモート開催の可否を含めるように登録講師の情報を更新したこと、Goldschmidt2021 は現地ブースが割り当て済みであることも報告された。

#### 15. GJ

発行状況、編集委員会の開催状況、著作権使用許可についての報告があった。GJ 賞の審査の進行状況について質問があり、現在審査継続中であることが説明された。

#### 16. 庶務幹事

メール審議で、2021 年度の学会賞等受賞者選考委員・委員長、および鳥居井上基金選考委員の任命が認められたことが報告された。さらに、GJ 誌、和文誌地球化学の在庫処分、共同利用・共同研究拠点の要望書の提出、学会賞の応募状況について説明があった。